

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	多機能型事業所として(児童発達支援・保育所等訪問支援)		公表日		令和7年 3月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		今年度が始まり、各療育室の机や棚の配置を整えたことで、以前よりも適切なスペースになった。	現在の療育スペースで十分だが、金曜日の午後クラスは自由遊びスペースが手狭に感じることもある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		人員基準よりも1～2人多い職員配置で運営している。	もう1名程度職員を増やし、より手厚いサポート体制を整えられるようにしたい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		グループ制を導入した点。 児童様に合わせて環境を見直したことで、落ち着いて過ごせるようになった。 それぞれの空間が構造化され、ここは何を行うスペースなのか年齢や発達問わずわかりやすいような環境となるよう心がけている。	現状に満足せずに、より良い環境を利用する児童に合わせて考えていきたい。 スロープや手すりなどのバリアフリー化は、足りていない箇所がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日、朝と夕の清掃を実施し、玩具や手が触れる箇所は、必ず消毒を行うようにしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		カームダウンスペースの確保は出来ていないものの、子ども達一人一人の発達の特性に合わせて、個室やパーテーションで仕切ったスペースを設けている。	クールダウンできるスペースがあると良い場面もある。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		毎日の療育反省とは別に、事業所毎の会議や午前クラス担当、午後クラス担当に分かれて毎月打ち合わせを実施している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		1月末に集計した保護者様の評価を3月の年度末会議で全職員へ報告し、改善内容を検討している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎月の職員会議の他に、職員との個人面談を少なくとも年1回は設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5		第三者の外部評価は実施していない。必要に応じて外部機関の評価制度を検討していきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		社内研修では多くの学びがあります。 学びの場となっている。 毎月2回の社内研修や社内独自の児発管研修を実施している。また、毎月支援員が自ら選択して学べるように様々な外部研修を設けている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		管理者も参画し、日々の療育プログラムを検討している。 ホームページに公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		今年度より、アセスメントツールとしてAI機能のソフトを導入し、保護者様のニーズや児童様の聞き取り以外にも評価ができるツールの活用ができるようになりました。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		担当の支援員と一緒にいる事が出来ている。 日頃から、児童様の様子を職員間で話し合い、計画に反映できていると感じます。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		個別支援計画のみならず、専門的支援実施計画も作成し、一人ひとりにあった支援を提供できるよう努めています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		自身の知識不足など、他の支援員がカバーし合い、話し合いを進める事が出来ている。 12番同様にAIソフトを用いたアセスメントも実施している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		ガイドライン項目に沿った支援計画を作成しております。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		6番同様に担当で集まり、その都度達成した場合は、次のレベルを提供するするなどし、少なくとも月1回は変更・見直しをしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		日々の反省であるが子どもの姿に合わせて活動内容を調整している。 6番同様に担当で集まり、その都度達成した場合は、次のレベルを提供するするなどし、少なくとも月2回は変更・見直しをしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		児童様一人一人の成長や発達段階、児童様の気持ちに合わせて、個別の支援と小集団での支援を提供しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		勤務時間が変わり、昨年度よりも打ち合わせに参加できる時間が増えたことでしっかりと確認した上で療育に入る事ができるようになった。 掃除や翌日の準備の時間を工夫する事で、打ち合わせの時間を十分にとれるようになった。 必ず打合せを実施し、児童様の動きをイメージして、きめ細かな職員の配置を検討しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		療育の振り返りをできない日は、必ず別日で実施するように心がける。 当日にできないが、翌日には振り返りができている。 療育提供後は、送迎業務があるため、当事業所では翌日に打ち合わせの中で反省を実施している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		個別に活動記録を記入し、支援計画や立案、支援内容の変更に役立っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		個別支援計画の見直しのためだけのモニタリングではなく、日々の療育内容や児童様の様子なども含めたモニタリングを実施している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1	当事業所では、管理者・児発管・専門リーダーが出席するようにしている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	管理者が主となって体制を整えている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		全利用児は達成できていないものの、関係機関との連携や移行支援については積極的に行ってきている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	4	対応頂ける小学校様とは行えています。	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	4	地域の児童発達支援センターでこのような体制が取れているのかわからないが、各センターが担当している連絡会には必ず参加している。	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	6	9割以上の児童様は、保育園や幼稚園との並行利用となっているため、事業所の活動として積極的に設けてはいない。		

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時や連絡ノートを活用している。	できている家庭とそうでない家庭がある。そうでない家庭は主に午前クラスを利用されている家庭であり、自宅への送迎ではなく、並行通園先へ送迎となるため、半年に1回程度の個人面談か連絡ノートでのやりとりとなっている。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3	研修ではないが、月1回の親子通所日をご家族様の参加できる日となっています。	保護者様のご希望があれば、今後親子通所内で保護者様向けの研修を実施していきたい。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	2	契約時に必ず説明をさせていただいている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	1	計画の更新のタイミングで、必ず保護者様にアセスメントアンケートシートを記入いただき、保護者様の想いを計画に反映できるようにしている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	1	面談を実施し、その中で計画の更新内容を説明して同意を得ている。必要があれば計画案を見直して再度提出、説明をしている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	1	保護者様のご希望に合わせて実施することがほとんどだが、なかなか気持ちを打ち明けられずにいるご家庭への相談支援は足りていないと感じる。安心して相談ができる関係作りに努めたいと思います。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	1	父母の会は設置していないが、月1回の親子通所日が保護者様同士が交流できる場として設定しております。	より交流がしやすいようなプログラムを考えていきたいと思っています。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	1	保護者様からの相談の申し入れについては、都度対応ができるように体制を整えています。平日で日程が合わない場合は、祝日や土曜日対応することもあります。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		月に1回ホームページで、児童様の事業所での様子をブログ形式で発信しています。連絡体制については、各事業所に児発管用のスマホ完備し、LINEでの連絡にも対応しております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		十分に留意しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	1	41番同様に、電話での対応が苦手なご家庭へは、LINEや連絡ノートでの対応を心がけております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	法人内の放課後等デイサービスで年1回イベントを開催し、児発を利用している方他に地域の方にも参加してもらえるようにしています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	2		マニュアルがあることは、契約時に周知しているが、内容についての発信はできていないため、今後どのように発信していくか検討する。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		BCPの作成を行い、今年度は職員へ内容を周知する研修を実施した。	次年度は実際に訓練を取り入れた社内研修を実施していく計画でいます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	2	見学時や契約時に必ず確認をさせていただいています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	契約時に確認をし、医師の指示書がない限り、食品の提供を行っていません。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		計画を作成して、実施しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	4	契約時に、事故対応や緊急時の対応を必ず確認しています。	

51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	2	日頃から確認するようにすると意識が高まるのではないと思う。 ヒヤリハットに該当する場合は、打合せ内で必ず実施しております。	ヒヤリハットがあれば伝えるが、日々ヒヤリハットの有無を確認していなかった。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		社内研修を年2回実施。虐待防止委員会を年2回実施しています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	2	社内研修を年2回実施。身体的適正化委員会を年2回実施しています。	該当児童はいません。 把握できていません。